

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択( / / )
授業科目名：子どもと環境 英語表記：Child and Environment ナンバリング：2322		単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：片口桂 担当形態：単独
科目/系列	領域及び保育内容の指導法に関する科目 / 保育の内容・方法に関する科目		
施行規則に定める科目区分 または事項等/教科目	領域に関する専門的事項・環境 / 保育内容の理解と方法		
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b> 1. 領域「環境」で必要となる感性を養い、基礎となる身近な環境の理解を深める実践知を身につける。 2. 様々な環境（人的環境・物的環境・社会的環境など）について理解し、現代の子どもを取り巻く環境の現状を知り、適切な環境について学ぶ。 3. 子ども発達や成長に即した環境を提供できるようにその方法や過程を理解する。			
<b>【授業の概要】</b> 領域「環境」の指導で必要となる感性を養い、子どもと環境との関わりの発達について学ぶ。子どもを取り巻く環境の現状や課題を理解し、適切な環境について考えることができるようにする。保育者も環境の一つであることを意識し、子どもへの働きかけや言葉かけ、対応について学びあい実践できるようになることを目指している。			
<b>【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】</b>			関連性
<b>【知識・理解・技能】</b>			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			○
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			
<b>【思考・判断・表現】</b>			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			○
<b>【関心・意欲・態度】</b>			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			○
<b>【授業計画】</b> 第1回：領域「環境」について、主体的な環境とのかかわりの意味を学ぶ 第2回：人間の生活と環境について学ぶ 第3回：ESDとSDGsについて学ぶ 第4回：子どもにとっての社会的環境の重要性を理解する 第5回：子どもの施設の保育環境について学ぶ 第6回：子どもと自然について学ぶ①（遊び、体験） 第7回：子どもと自然について学ぶ②（動植物とのかかわり） 第8回：子どもにとっての「環境」としての保育者のかかわりを理解しまとめる（人的環境）（グループワーク、発表） 第9回：3歳未満児の発達における環境との関わり①について理解する 第10回：3歳未満児の発達における環境との関わり		<b>【授業時間外の学習】</b> ・毎回の課題の予習と復習（1時間） ・次週のテーマについての調べ学習（1時間） グループワークの準備とまとめ（1時間） グループ発表の準備（1時間）	

<p>②について理解する</p> <p>第11回：3歳以上児の発達における環境との関わり</p> <p>①について理解する)</p> <p>第12回：現代社会の乳幼児を取り巻く環境とその課題 (グループワーク)</p> <p>第13回：(グループ発表) 現代社会の乳幼児を取り巻く環境と その課題(グループ発表と振り返り)</p> <p>第14回：季節と保育環境の関連について学ぶ(グループワーク)</p> <p>第15回：「環境」を通して行う教育・保育のまとめ</p> <p>定期試験：なし</p>	
<p><b>【授業の方法】</b></p> <p>幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「環境」のねらいと内容について理解し、実践できるように授業を行う。また、グループワークを通して意見を出し合い、発表する等、積極的に自分の意見を出し合う機会を設ける。課題やグループワークについてフィードバックを行い理解を深める。</p>	
<p><b>【テキスト】</b></p> <p>『幼稚園教育要領解説』(最新版)、『保育所保育指針解説』(最新版)、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』(最新版)</p>	
<p><b>【参考書・参考資料等】</b></p> <p>必要に応じて図書館で必要な資料を探し借りる。</p>	
<p><b>【学生に対する評価】</b></p> <p>提出物や口頭発表(30%)、授業参画度等(20%)、期末課題(50%)。ルーブリックを活用し、総合的に評価する。</p>	
<p><b>【履修上の注意】</b></p> <p>普段から子どもを取り巻く様々な環境に興味・関心を寄せるようにする。各解説書を必ず持参すること。領域「環境」について事前事後の学習を行うことを前提に授業を進めていく。</p>	
<p>実務経験の有無：有</p>	<p>実務経験：保育所 児童発達支援事業所</p>
<p><b>【実務経験を生かした教育内容】</b></p> <p>保育所等の実務経験を活かし、子どもの生活、発達にとって環境が大切かを具体的に学べるように授業を行う。</p>	